



★ 緑川先生着任 国のコロナ対策支援事業 1日 ★



★新型コロナ対策で国の緊急予算措置により、学校現場のために「学習指導員」を配置することとなり、9月1日より、県立女子大4年生の「緑川真稀子(みどり)かわまきこ」先生が着任しました。火水金の週3日で6時間勤務です。2日のお昼の放送で自己紹介をしてもらいました。学習指導のお手伝いから消毒作業などの雑務まで、様々なところで仕事をしてもらいます。学校での仕事は初めてですが、意欲は大変強い緑川先生です。玉小の子ども達や先生と早く仲良くなって欲しいですね。

🌸... 体育集会⑤ 急な雨で中止...残念 2日 🌸...🌸...

■体育集会はこれまでラジオ体操を校庭一杯に広がって行ってきましたが、違う運動も行っていくことも必要。毎年行っている様々な運動を順番にしていって「サーキット運動」のやり方をちょこっと変えて、安全で密にならず、しかも楽しくできるように体育部の先生が工夫してくれました。投力の弱点改善にも取り組める運動もプラスされました。ですが、サーキット運動開始予定だった2日の体育集会が、朝の急な降雨に実施できませんでした～残念。それでさえも思い切り運動ができない状況。久しぶりの雨は嬉しいのですが、子ども達の運動機会の確保をすることも必要です。9日の体育集会の好天を期待します。



県陸上記録会中止に伴う「郡記録会」の中止について

◆1日に県陸上記録会中止に伴う「郡陸上記録会の中止」についてのお知らせを高学年の児童の家庭に配布したところ。新型コロナの感染拡大が収束しない状況もあり、感染対策を講じたとしても実施は難しいという判断です。通知文は玉小ホームページにも掲載しました。水泳記録会や運動会の中止もすでにお知らせしましたが、子ども達の活躍の場は大事であることは確かです。しかし、参加する子ども達の安全を最優先しなければならぬ状況が続いている以上、その場を設定することができないもどかしさを感じているのは誰もが同じでしょう。特別な年の今の状況が改善されない限り、安心して何でもできるようにはなりません。残念な思いばかりですが、視点を変えて、今の状況でも前向きに臨めることに全力を尽くせる場や機会を考えていきたいものです。

◆なお、県陸上教室記録会の中止に伴って、運動意欲の向上や体カレベルを知る機会として、群馬県小学校体育研究会が推奨する「群馬県小学校 陸上3種競技チャレンジ」(50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ)に挑戦して記録証を受ける事業があります。現在高学年で相談中です。

📖📖📖 「読み聞かせ」が低学年でスタート 3日 📖📖📖



■やっとのことで、読み聞かせがスタートしました。新型コロナ対応で、なかなか学校にボランティアさんに来ていただくことができませんでした。代表の富澤さんとの相談も重ね、低学年から開始できる運びとなりました。1年生はプレイルームで、2年生は多目的室で、3密を避けて行います。読む際には、子ども達が広がるので、声が届くようにポータブル拡声器を使います。やっぱり「生」の読み声は良いものですね。3年生以上のスタートについては、新型コロナの状況もみながら、場所や方法など検討していきます。



🚩🚩 旗振り場所の「登校観察」実施 4日朝 🚩🚩



■玉小では定期的に朝の旗振り場所に教員も立って、子ども達の登校の様子を見に行っています。歩き方や待機の仕方、挨拶などを確認して、今後の指導に生かしています。新型コロナ措置で春先に実施できず今回となりました。毎日旗振り当番で子供の安全のために尽力くださっている保護者の皆様には大変感謝しています。毎朝の元気な子ども達の元気な挨拶が励みになるかと…。でも、毎回課題となるのが、その「挨拶」なのです。学校としてしっかりできるように指導していきます。もちろん校内も含めて自分から元気にハキハキとできることが大事。挨拶はこれから社会に出る上でとても大事な当たり前のことですから。



📍📍 4年生社会科学習「町浄水場見学」4日 📍📍

■4年生の社会科の学習で「水」について学習を進めます。身近な「水道水」はどんなふうにして、私たちの家庭の蛇口に来ているのか等々。学級ごとに時間差で行くなど、当日は朝から暑くて熱中症とコロナ対策を講じての見学。浄水場に行ってどんなことがわかったかな？学校や家庭で使う「水道水」。きれいな水はどうやって作られ、汚い水はどうやってきれいにされるのか…。身近な水について子ども達が学んでいくのが楽しみですね。



1組 井戸のポンプ？



2組 しっかりメモして

📧 新型コロナ偏見差別に関する文科大臣メッセージ 📧

📧9月1日(火)にホームページに掲載したところですが、萩生田光一文部科学大臣のメッセージについてお知らせします。8月25日に文部科学省のWEBページにアップされたものです。保護者地域版のメッセージの一部を抜粋して以下に紹介します。詳細版はHPをご覧ください。

■第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せず、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。

■第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていくことができるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

こうちょうのひとりごと

■新型コロナのせいで、今年度は、まだ「たてわり活動」をまだ実施していません。月に1回、1~6年でつくったグループで遊び活動を楽しむわけですが、感染予防という視点では、密になる場面が多くて活動させることはまだやめておきましょうと言う状況です。ただ、校長としては、遊びに限定せず、何か工夫した活動が可能であれば、「たてわり活動」を行いたいなあ〜と考えています。たてわり(特別活動)担当の先生にも話してあります。何とか、最初の顔合わせはできそうかな。上下のつながりってやっぱり大事だと思うのですよね…。

📍台風10号による九州四国山陰地方の被害が心配されていますが、関東でも台風による大雨が発生しています。玉村でも急な強い雨が降っていますので、十分注意をしてください。